

【C P-10 のご使用方法】

ヘアクラックの基本的な補修方法は、Y o u T u b e の動画サイトを参照してください。

<https://youtu.be/XoRZ9iF6h5k>

施工に当たっては、Vカット後に、注入口を残し、動画ではプラスチックの板でクラックを覆っておりますが、実際にはテープで塞ぐのが簡単です。このテープは出来ればブチルゴム系の粘着テープが適します（粗面粘着用）。

このテープの周囲をM-1 で養生してください。約5分で初期硬化します。

この際M-1 塗布面が余分に広がらないように、養生テープで外周を保護しておく、仕上がりがきれいです。

また、注入口を少し大きめに作っておくと注入が容易になります。

クラックの反対面はテープもしくはM-1 で塞いでおきます。その際内部充填を確認するため、上部は少し開けておいてください。

C P-10 は低粘度の無溶剤型樹脂ですが、冬場は低温のために粘度が高くなります。この場合最初に、主剤・硬化剤それぞれを、オイル差しなどの容器に移し、使用する前にポットのお湯に2～3分漬けてやわらかくしてください。すぐやわらかくなります。

さらに紙コップなどに主剤・硬化剤を必要量だけ移して攪拌します。この時の比率は主剤3:硬化剤1の比率です。ハカリを持参し、正確に計量してください。この際クラックの隙間のおよその容積を計算しておく、と良いでしょう。例えば、厚さ12cm、高さ50cmの1mm幅のクラックは、 $12 \times 50 \times 0.1 \div 1000 = 60\text{cc}$ 、の様に計算します。

混合攪拌したC P-10 を、さらに別のオイル差しに移し入れます。

注入口より静かに注入してください。液面が下がったら足してください。背後の確認用隙間から溢れるのを確認し、注入完了となります。

今の時期だと硬化には1日半から2日程度かかると思います。20℃で1日、夏だと半日くらいです。

硬化後は、漏れ部分や余分なM-1 をサンダーで削り取ってください。

Vカットの窪みが残った場合は、B G-200 で穴埋めしてください。